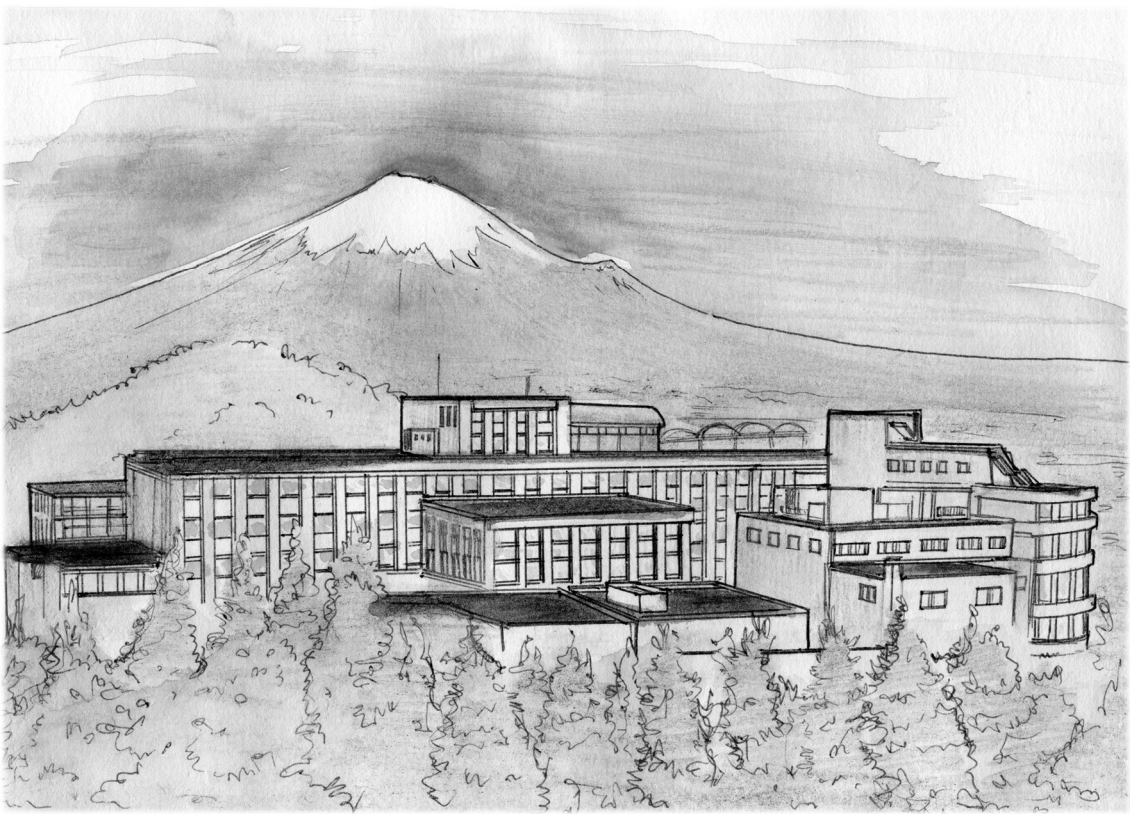


令和4年度

共立蒲原総合病院年報



共立蒲原総合病院の理念

1. 地域中核病院として、地域住民のニーズに対応した適正な医療を提供する。
2. 患者中心の全人的医療を提供する。
3. 健全な収支の確立に努める。
4. 職員が働き甲斐・誇りをもてる職場を構築し、医療水準の向上に努める。

共立蒲原総合病院の方針

1. 病院中期経営計画の目標を達成する。
2. チーム医療を促進する。
3. 経営資源を適切に活用する。
4. 倫理観を持って行動する。

第12号の発行にあたって

院長 西ヶ谷 和 之

新型コロナウイルス感染症（コロナ）によるパンデミックは令和4年度も続き、とうとう三年目の年となってしまいました。結局、年度内には収束しませんでした。令和3年度に引続いて、令和4年度もコロナ対策本部会議の開催、コロナの入院患者さんの受け入れ、抗原定量検査やPCR検査の実施、コロナ後遺症患者さんの外来受診の受け入れ、住民ワクチン接種、発熱外来の継続など、当院のすべての職種がたいへんな思いをしておこなってくれました。コロナの流行期としては、7～9月の第7波（オミクロン株 BA.5系統）、11～2月の第8波（オミクロン株 BA.5系統、BQ.1系統、BA.2.75系統）、がありました。第7波、第8波では感染力が強く、致死率は低下しているとは言え、全国の死亡者数は過去最高に増加しました。この原因として、感染者全体の数が圧倒的に増加したこと、なかでも高齢者の感染者数が増加したことが上げられています。死因はコロナ肺炎ではなく、基礎疾患の悪化による誤嚥性肺炎や心不全の増悪で亡くなった高齢者の人数が増加したための様です。当院にも院内感染が発生し、初めて院内感染のクラスターを経験しました。多くの患者さんとそのご家族には多大なご迷惑をおかけしました。当院では第6波までは、院内感染を起こすことなくやり過ごすことができましたが、第7波、8波の爆発的な感染力に対しては、当院の院内感染防御態勢が機能しなかったことはたいへん残念でした。そして、令和5年の1月26日に、政府からコロナの感染症法上の分類を5類とする変更日を5月8日に決定されたとの発表がありました。令和4年度内までに、今後のコロナの収束の目途が立ったことは、長くて暗いトンネルをやっと抜け出たという感慨がありました。

ウクライナへのロシアによる凄惨な侵略戦争が続き、この戦争も二年目に突入してしまいました。この戦争により、世界中に悪影響が及んでいます。エネルギー価格や穀物などの原材料価格の高騰などで、光熱費やそれと関係した物価の上昇など、これに加えて円安が進んだことで輸入コストも増加し、病院の支出が増えた年でもありました。光熱費の増加に対して、行政からの補助金もありました。このウクライナの戦争や中国、北朝鮮などによる東南アジアの緊張状態などで、我が国の防衛費予算は増加の一途となり、今後押し進めていかれる少子化対策への新たな財源確保の問題もあるので、今後、社会保障費の予算が圧縮されてしまうことが非常に危惧されます。

院内人事では常勤医師4人の入職があり、1名の非常勤医への変更、1名の退職となったため、常勤医2名の増加となりました。

令和4年度の機能評価係数Ⅱは0.11130であり当院においては過去最高の数値でした。急性期病棟の平均在院日数は13.3日と、令和3年度と比較して2日ほど増え、これはコロナによるクラスターが発生し、いくつかの病棟が閉鎖となったことが原因であったと考えています。令和4年度の経常収支に関しては、コロナ関係の空床補償の補助金として約1億7,000万円余の収入がありましたが、経常収支は2億2,400万円余の赤字でした。

当院においては、今後の地域医療構想、医療DXの推進、働き方改革、地域の勤務医師不足、診療科医師の偏在など、乗り越えていかなければならない問題が山積みです。コロナによる院内感染に注意を向けつつ、アフタコロナにスムーズに移行していけるように工夫しながら、地域住民へ良質な医療サービスを提供できるように、職員一同で頑張っていきたいと思っております。

目次

共立蒲原総合病院の理念

共立蒲原総合病院の方針

第12号の発行にあたって（院長）

I 概要・沿革

- 1 概要……………1
- 2 沿革……………2

II 現況

- 1 組織図……………7
- 2 職員数……………8
- 3 正規職員平均年齢……………8
- 4 建物案内・平面図
 - (1) 建物案内……………9
 - (2) 平面図……………10
- 5 施設概要……………16
- 6 設備概要……………16
- 7 主な医療機器
 - (1) 病院……………17
 - (2) 健康診断センター……………17
- 8 病床数……………18
- 9 診療科目……………18
- 10 診療受付時間……………18
- 11 診療サービス区分……………18
- 12 施設指定等……………18
- 13 各学会認定（指定）施設……………18
- 14 病院開設許可等……………18
- 15 施設基準
 - (1) 基本診療料……………19
 - (2) 特掲診療料……………19
- 16 病院組合議会……………20
- 17 院内会議及び委員会……………21
- 18 病院情報システム……………25

III 経営

- 1 業務概況……………26
 - (1) 業務の状況……………26
 - (2) 事業収支について……………26
 - (3) 資本的収支について……………26
- 2 業務実績……………27

- 3 損益計算書……………28
- 4 貸借対照表……………29

IV 診療統計

- 1 入院
 - (1) 入院総括……………31
 - (2) 診療科別入院患者延数……………31
 - (3) 病棟別入院患者の状況……………32
 - (4) 診療科別・年齢別入院患者延数……………34
 - (5) 地区別・診療科別入院患者延数……………35
 - (6) 地区別入院患者延数推移（5年間）……………35
 - (7) 地区別入院患者割合推移（5年間）……………35
- 2 外来
 - (1) 外来総括……………36
 - (2) 診療科別外来患者延数……………36
 - (3) 診療科別・年齢別外来患者延数……………37
 - (4) 地区別・診療科別外来患者延数……………38
 - (5) 地区別外来患者延数推移（5年間）……………38
 - (6) 地区別外来患者割合推移（5年間）……………38
- 3 救急医療
 - (1) 診療科別患者延数……………39
 - (2) 診療科別・月別患者延数……………40
 - (3) 地区別・月別患者延数……………41
- 4 手術
 - (1) 診療科別・年度別手術件数……………42
 - (2) 診療科別・月別手術件数……………42
 - (3) 診療科別・月別麻酔件数……………43
 - (4) 診療科別・内容別手術件数
 - ① 内科……………44
 - ② 外科……………44
 - ③ 整形外科……………45
 - ④ 脳神経外科……………45
 - ⑤ 泌尿器科……………46
 - ⑥ 眼科……………46
 - ⑦ 耳鼻いんこう科……………46
 - ⑧ 内視鏡センター……………47

目 次

⑨ その他	47	(2) 項目別悪性所見発見数（令和3年度）	61
5 人工透析センター	48	① 全体	61
6 死亡件数		② 受診区分別（職域・個人）	62
(1) 診療科別死亡件数	48	③ 受診区分別（自治体住民検診（市））	63
(2) 死亡及び剖検件数	48	④-1 自治体住民検診・市別（富士市）	64
7 薬局		④-2 自治体住民検診・市別（静岡市・富士宮市）	65
(1) 処方箋枚数、錠数、疑義照会件数	49	15 診療録管理室	
(2) 服薬指導	49	(1) 疾病統計	
(3) 院内製剤	49	① 疾病別・診療科別入院患者実数	66
8 検査科	50	② 疾病別・年齢別入院患者実数	67
9 放射線科		(2) 手術統計	68
(1) 年度別検査件数	51	(3) 死亡統計	70
(2) 医療機器共同利用件数	51	(4) 医療情報の開示	70
(3) 健康診断センターにおける年度別検査件数	51	16 地域医療支援室	
10 リハビリテーション科		(1) 診療科別紹介患者延数	71
(1) リハビリ処方箋件数	52	(2) 紹介率・逆紹介率	71
(2) 診断名別リハビリ処方患者実数	52	(3) 医療相談	72
(3) 年度別リハビリ件数	53	17 医療安全への取り組み	74
11 栄養管理科		18 感染防止への取り組み	78
(1) 栄養指導件数	54	V 看護部	
(2) 給食数	55	看護部理念	80
(3) NST報告	55	看護部方針	80
12 臨床工学科	56	看護部目標	80
13 訪問看護ステーション		1 各部署の年間目標に対する評価	
(1) 訪問対象者	57	(1) 看護部	81
(2) 年齢別訪問対象者	57	(2) 外来	87
(3) 医療機関別訪問対象者	57	(3) 西2病棟	88
(4) 訪問看護対象者の状況	57	(4) 新2病棟	89
(5) 訪問利用者延数	58	(5) 東3病棟	90
(6) 地区別利用者延数推移（5年間）	58	(6) 西3病棟	91
(7) 地区別利用者割合推移（5年間）	58	(7) 東2病棟	92
(8) 訪問対象者の主な疾患	59	(8) 新3病棟	93
(9) 訪問看護の内容	59	(9) 人工透析センター	94
(10) 対象者が受けている医療内容	59	(10) 手術室	95
14 健康診断センター		(11) 訪問看護ステーション	96
(1) 年別受診者実数		(12) 健康診断センター	97
① 施設内健診	60	2 看護部院外研修	98
② 検診車による出張健診	60	3 院内看護研究発表会	99
③ 乳がん・子宮がん検査数	60	4 認定看護師・実践看護師の活動報告	
④ 特定保健指導・健康相談	60		

目次

(1) 感染制御実践看護師	100
(2) がん化学療法看護認定看護師	101
(3) 透析看護認定看護師	102
(4) 脳卒中リハビリテーション看護認定看護師	103
(5) 認知症看護認定看護師	104
(6) 緩和ケア認定看護師	105
(7) 訪問看護認定看護師	106
(8) 糖尿病看護認定看護師	107
(9) 皮膚・排泄ケア看護認定看護師	108

VI 研究

1 医局

(1) 学会・研修会等出席者数	109
(2) 学会及び研究会報告	109
(3) 対外活動	109

2 診療技術部

(1) 学会・研修会等出席者数	110
(2) 著書・刊行論文	110
(3) 学会及び研究会報告	110
(4) 対外活動	111
(5) 院内研修	112

3 看護部

(1) 学会・研修会等出席者数	113
(2) 学会及び研究会報告	113

VII その他

1 年間行事	114
2 蒲原病院健康フェスタ	120
3 市民公開講座	120
4 蒲原病院だより	120